

「太平洋プレューロックス AS」は、汎用型の無収縮モルタルをベースに、アルミノシリケート系混和材および高炉スラグ微粉末を予め混和することで組織を緻密化し遮塩性を向上させた製品です。従来の無収縮モルタルの適用箇所の中でも特に海岸部の飛来塩分や融雪剤散布など塩害対策が求められる場合での使用に適しています。

なお、物理的性質は、東・中・西日本高速道路(株)の構造物施工管理要領に記載される無収縮モルタルの基準を満たします。

## 1. 特長

### (1) 塩分浸透抑制

アルミノシリケート系混和材など特殊混和材の作用により緻密化が図れるため、従来の無収縮モルタルに比べて塩分の浸透が抑制されます。

### (2) 無収縮性

ノンブリーディングかつ適量配合された石灰系（酸化カルシウム主成分）膨張材の作用により、拘束条件下で無収縮性が発揮されます。

### (3) 流動性・強度発現性

各温度環境下において従来の無収縮モルタルと同程度の流動性、強度発現性を有しています。

### (4) 品質安定性

プレミックスタイプのため、現場では所定水量を計量し、練混ぜを行うだけで高品質な無収縮モルタルが得られます。

## 2. 製品概要

製品名	規格・仕様	荷姿
プレューロックス AS	プレミックス	25kg/袋

## 3. 標準配（調）合

区分	練上り温度範囲 (°C)	J14 漏斗流下値 (秒)	プレューロックス AS (kg)	練混ぜ水量 (kg)	練上り量 (L)
単位量 (kg/m <sup>3</sup> )	5~35	8±2 秒	1,829 (約 73 袋)	344	1,000
現場配（調）合 (1 袋)			25 (1 袋)		

(※) 外気温度、材料温度、練混ぜ水温度により規定とするコンシステンシーを得るための水量が若干変動しますので、事前に試し練りを行い、水量の確認を行ってください。

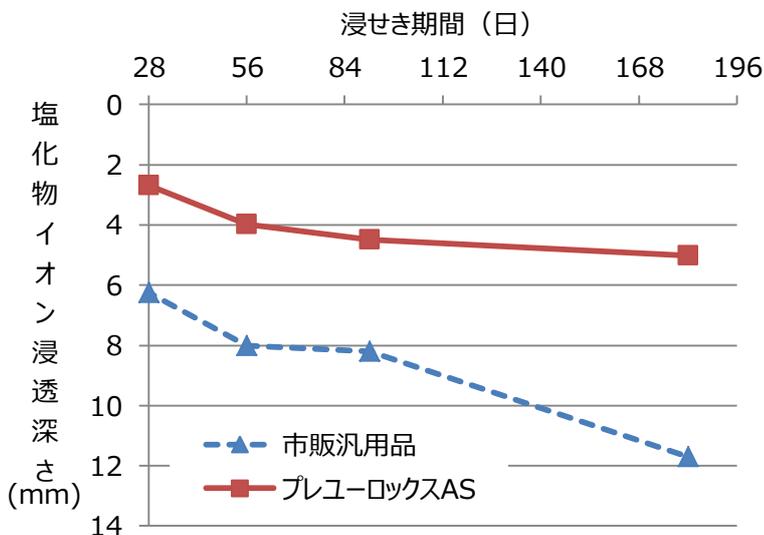
(※) 練混ぜは機械練りとし、全材料投入後、90~120 秒程度行ってください。

#### 4. 物性測定結果の一例

試験項目		試験方法	試験結果			
試験温度 (°C)		—	5	10	20	30
練混ぜ水量 (kg/袋)		—	5.0	4.8	4.7	4.5
練上り温度 (°C)		—	11	16	24	35
単位容積質量		JIS A 1171 に準拠	2.13	2.15	2.17	2.20
J <sub>14</sub> 漏斗流下時間 (秒)		NEXCO 試験法 312 に準拠	8.3	8.6	7.8	7.9
ブリーディング率 (%)	2 時間		0.0	0.0	0.0	0.0
凝結時間 (h-min)	始発		7-10	5-55	5-10	4-15
	終結		9-40	7-30	6-10	5-00
膨張収縮率 (%)	7 日		—	—	0.47	—
鉄筋付着強度 (N/mm <sup>2</sup> )	28 日		—	—	4.8	—
圧縮強度 <sup>(※1)</sup> (N/mm <sup>2</sup> )	1 日		6.37	16.6	34.9	52.5
	3 日		30.5	41.6	53.6	73.2
	7 日		46.6	53.7	69.8	77.0
	28 日		65.6	75.5	77.8	78.3
塩化物量 (kg/m <sup>3</sup> )		JASS 5N-502 に準拠	—	—	0.09	—

(※1) 材齢 1 日までは封緘養生とし、その後は脱型し、各試験温度にて水中養生を実施した。

#### 塩化物イオンの浸透深さ<sup>(※2)</sup>



(※2) 材齢 28 日まで水中養生を施した後、10wt%の食塩水に浸せき。(試験体寸法：φ5×10cm)

#### 塩化物イオンの見掛けの拡散係数<sup>(※3)</sup>

製品名	見掛けの拡散係数 (cm <sup>2</sup> /year)
プレューロックAS	0.174
市販汎用品	0.696

(※3) JSCE-G 572「浸せきによるコンクリート中の塩化物イオンの見掛けの拡散係数試験方法(案)」による。

## □ 使用上の注意事項

- ① モルタルの接地面は目荒らしを行い、目荒らし等の処置が不可の場合は、レイタンス等の脆弱層を除去してください。
- ② モルタルの接地面は水湿または吸水調整材（例：太平洋エフェクトA）を塗布してください。
- ③ 練混ぜ水は、有機不純物を含まない清水としてください。
- ④ 練混ぜは機械練りで材料投入後、90～120 秒を目安とし均一に練混ぜて下さい。アルミ製羽根のハンドミキサで練混ぜを行うと、アルミ部材が磨耗し施工後モルタルが異常膨張することがありますので使用しないで下さい。練混ぜは、800 回転以上の高速ミキサを使用して下さい。回転の遅いミキサを使用して練混ぜた場合、均一に混ざらない恐れがあります。
- ⑤ 打設後、モルタルの表面が露出する箇所については、こて押えをし表面の仕上げ処理を行ってください。こて押えが不十分な場合、プラスチックひび割れ等が発生することがあります。
- ⑥ 硬化後、モルタルの表面が露出する箇所については、湿潤養生又は塗膜養生剤（例：キュアキーパー）を塗布してください。
- ⑦ 打設完了後、モルタルが硬化するまでは、衝撃、振動を与えないようにし、露出面がある場合、露出面に風雨等が直接当たらないようにシート等にて養生してください。養生期間は基本、強度発現時（3 日以上）を目安とします。
- ⑧ 材料の保管には、雨露等がかからず湿気の少ない場所を選び、パレット等を敷き床面から離れた状態でビニールシート等で覆ってください。又、一旦開封したものは、その日のうちに使用してください。
- ⑨ 本製品および施工後の洗浄水等は、海・河川・下水道等への廃棄はしないでください。使用後の残材については、産業廃棄物として処分してください。
- ⑩ 本カタログ記載外の用途に使用される場合は、ご使用者側にて調査検討の上、御不明な点は弊社まで御相談下さいますようお願い致します。

## □ 安全上の注意事項

- ① 本製品はカタログに記載されている方法でご使用ください。
- ② 本製品はセメントと同様にアルカリ性を示します。使用の際は、眼・鼻・皮膚および衣類に触れぬよう保護具（ゴム手袋、保護眼鏡、マスク等）を着用の上ご使用ください。
- ③ 誤って眼に入った場合は、直ちに清水で十分洗浄した後、医師の治療を受けてください。
- ④ 皮膚に付着すると肌荒れを起こすことがありますので、直ちに水洗いしてください。
- ⑤ 作業後は手洗い、うがいをしてください。
- ⑥ 製品の使用にあたっては SDS を参照願います。

□ 問合せ先

 太平洋マテリアル株式会社

〒114-0014 東京都北区田端 6-1-1 田端A S U K Aタワー15階

TEL. 03-5832-5217 URL. <http://www.taiheiyo-m.co.jp>

営業本部 機能性材料営業部

---

北海道営業部	〒060-0004 北海道札幌市中央区北 4 条西 5-1-3 日本生命北門館ビル	011-221-5855
東北支店	〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町 1-1-1 大同生命仙台青葉ビル	022-221-4511
東京支社	〒114-0014 東京都北区田端 6-1-1 田端A S U K Aタワー	03-5832-5241
関東営業部	〒370-0849 群馬県高崎市八島町 58-1 ウエスト・ワンビル	027-329-5970
中部支店	〒453-0801 愛知県名古屋市中村区太閤 3-1-18 名古屋 KSビル	052-452-7141
関西支店	〒530-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 4-3-2 類ビル	06-7668-6001
広島営業部	〒732-0828 広島県広島市南区京橋町 1-23 三井生命広島駅前ビル	082-261-7191
高松営業部	〒760-0050 香川県高松市亀井町 7-15 セントラルビル	087-833-5758
九州支店	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神 4-2-31 第2サンビル	092-781-5331

---

・本製品の仕様は、予告なしに変更することがありますので、ご了承願います。

・本カタログに記載された事項は、弊社の実験結果に基づくものでありますが、各種条件により実際の現場結果を確実に保証するものではありません。

2020.5.